

スプレー缶の爆発・やけど

事故の概要

【事例①】石油ファンヒーターの前に置いていたスプレー缶が破裂し、窓ガラスが割れて天井に穴が開き、ふとんが焦げた。

【事例②】シュレッダーが紙詰まり状態だったので、スプレーを噴射したら爆発音とともに火が出て、手にやけどを負った。

事故の原因

【事例①】スプレー缶がファンヒーターの熱で過熱されて内圧が上昇したために破裂し、噴き出した可燃性ガスにファンヒーターの火が引火したものです。

【事例②】スプレー缶に含まれる可燃性ガスがシュレッダーの内部に滞留し、モーターの火花が引火したものです。

【NITEの再現実験】



ファンヒーターの熱で膨張したスプレー缶の底が抜けて飛び上がりました。



スプレー缶にファンヒーターの火が引火し、スプレー缶は爆風で飛ばされました。



炎が一面に燃え広がっています。



事故防止のために

- ◆ 燃焼器具の近くで使用したり、放置しないでください。
- ◆ 使用する時は換気をしてください。
- ◆ シュレッダーの内部に噴射しないでください。
- ◆ 湿気の多い場所や温度が高くなる場所に置かないでください。
- ◆ 捨てるときは、屋外の風通しがよく火気のない場所でスプレーボタンを押して中身を出し切ってください。

※自治体が穴を開けて廃棄することを指示している場合は、必ず中身を出し切ってから処理してください。

